

日比谷の森で考える プラスチックと地球環境 ～いま、できることから～

アートで SDGs 歩き方ガイド

日比谷図書文化館 3Fエレベーターホール
2021年6月22日～8月31日 休館日毎月第3月



プラスチックはとても便利。けれど、ごみとなって海に流れ出たプラスチックは大きな問題となっています。そんな中、地域の仲間たちがプラスチックごみから、プラスチックアートをつくりました。これをきっかけにプラスチック問題や地球環境について考えてみませんか？環境アートやポコラート、深海、レイチェル・カーソン、そして「駿河台本」の世界にも誘います。

1 プラスチックアート「海・陸・空」

2 今、海で何が起きているの？ 海洋プラスチックごみ問題を考える

3 アート 素材はエコロジー 創り手はボーダレス

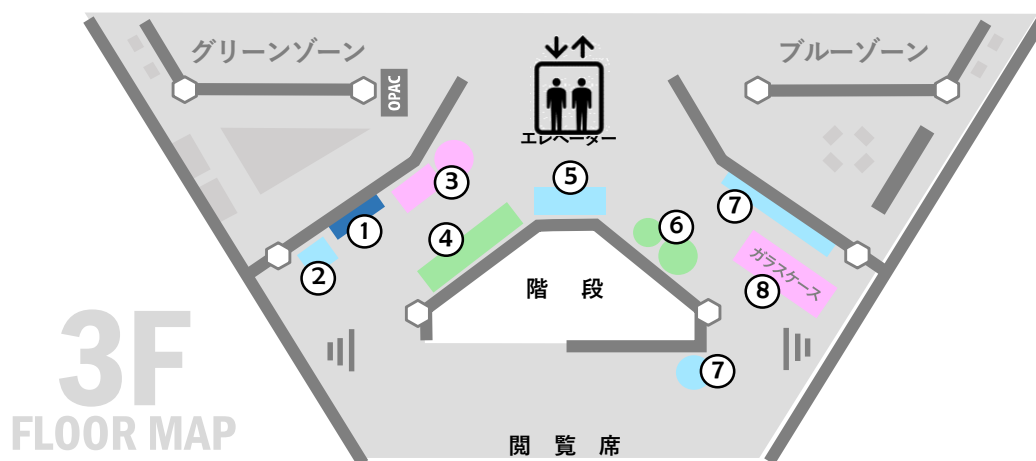
4 雑誌で読む SDGs

5 雑誌で読む 海洋プラスチックごみ問題

6 環境活動のパイオニア センス・オブ・ワンダー 海洋生物学者 に出会った生物学者 レイチェル・カーソン と 福岡伸一

7 駿河台から日比谷へ 日比谷の森に集まった仲間たちの取り組み

8 駿河台図書館と「駿河台本」



主催： 千代田区立日比谷図書文化館
共催： 千代田区立障害者福祉センターえみふる
協力： NPO法人地球の友と歩む会、三井住友海上火災株式会社、
千代田区立西神田児童センター、NPO法人チームくら号、アーツ千代田 3331

千代田区立日比谷図書文化館

東京都千代田区日比谷公園1-4 (都立日比谷公園内)
URL: <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/> 20210622